

3 対応性・更新性			4.2	0.50		-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1 階高のゆとり		3.9m以上	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率=0.072	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		15000N/m ² 以上	5.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性		-	3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		-	3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		-	3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20		-	
CS 暮らしの快適性			2.0	0.57		-	1.43
1 生物環境の保全と創出		-	1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		-	2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		-	2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		-	2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			5.0	0.90		-	3.8
UR1 建築物のエネルギー消費低減			5.0	0.90		-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BEIm=0.78	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		-	3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]=0.39	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング		-	3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		-	3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1 モニタリング		-	-	-		-	
4.2 運用管理体制		-	-	-		-	
UR2 水資源の確保			3.4	0.90		-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水コマなどに加え、自動水栓を用いている	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		-	3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	3.3
2.1 材料使用量の削減		-	2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		-	3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		-	3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤		-	-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		-	3.0	0.50		-	
3 冷媒		-	3.0	0.50		-	
UR3 地球温暖化・地域環境への配慮			4.3	0.90		-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2=70%	4.3	0.33		-	4.3
2 地域環境への配慮			3.4	0.33		-	3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		-	3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		-	3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		-	2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音		-	3.0	1.00		-	
2 振動		-	-	-		-	
3 悪臭		-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		-	3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制		-	-	-		-	
3 日照障害の抑制		-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策チェックリスト項目の過半を満たしている。広告物照明設置なし	5.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)八幡市上津屋西久保物流計画

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 敷地・建物環境															
1 生物資源の保全と創出	3.0	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
UR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UR2 資源・マテリアル															
1.2.2 経排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UR3 環境負荷低減															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	1.0	-	1.0	3.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
ηAH	-	-	-
窓光率	0.0%	-	-
自然換気有効開口面積率	0.0%	-	-

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ² ツイン	.0m ²
コンセント容量	0.0 VA/m ²	-	-	-	-	-
天井高	0 m	-	-	-	-	-
リフレッシュスペース	%	レストスペース	%	-	-	-
想定耐用年数	0 年	-	-	-	-	-
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-
階高	0 m	-	-	-	-	-
壁長さ比率	0.0%	-	-	-	-	-
床荷重	- N/m ²	-	-	-	-	-

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外植緑化指数	0%	産物緑化指数	0%
空地率	0%	水平投影面積率	0%
地表面対策面積率	0%	舗装面積率	0%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.78	断熱等性能等級	対象外 相当
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	0.0%
採光を満たす住戸数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅	0.39	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	-----	------	----	---	-----	------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

雨水利用率	0.0%	-	-
特定調達品目	-	エコマーク商品	-
使用比率	0.0%	自治体指定の特定品目等	-

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	72%	隣接間隔指標Rw	1.18
地表面対策面積率	0.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!
外壁面対策面積率	#DIV/0!	見付面積Sb	2,273m ²
卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	125.6 m	基準高さHb	25.98 m
緑地	m ²	水面	m ²
保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²
再帰性反射対策面	m ²	-	-